

このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、円高や海外経済減速の影響が現れている。

生産は、足下は弱い動きになっている。消費は、持ち直しつつあるものの、マインドの低下が懸念される。雇用は、緩やかな改善傾向にあるが海外経済減速の影響が現れつつある。

先行きについては、電力供給への不安、海外経済の動向や円高の影響等の拡大が懸念材料である。



2011年12月21日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大口電力需要、大型小売店販売額、コンビニエンスストア販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

政府・日銀の景況判断	1
タイの洪水による関西経済への影響	2
生産	3
輸出入	5
個人消費	7
住宅投資	10
株価・為替	11
倒産	12
雇用	13

～政府・日銀の景況判断～

	近畿 近畿地区金融経済概況 日銀大阪支店	関東甲信越 地域経済報告 日銀	全国 金融経済月報 日銀	全国 月例経済報告 内閣府
2010年12月	近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあるものの、このところ足踏み状態となっている。		⇒ わが国の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる。	⇒ 景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2011年1月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあるものの、このところ足踏み状態となっている。	⇩ 緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる。また、地理的および業種間のばらつきも残存している	⇒ わが国の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる。	⇩ 景気は、足踏み状態にあるが、一部に持ち直しに向けた動きがみられる。ただし、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2011年2月	⇩ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、昨秋からの足踏み状態を脱しつつある。		⇩ わが国の景気は、改善テンポの鈍化した状態から徐々に脱しつつある。	⇩ 景気は、持ち直しに向けた動きがみられ、足踏み状態を脱しつつある。ただし、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2011年3月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、昨秋からの足踏み状態を脱しつつある。		⇒ わが国の景気は、改善テンポの鈍化した状態から脱しつつある。	⇩ 景気は、持ち直しに転じているが、自律性は弱く、東北地方太平洋沖地震の影響が懸念される。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2011年4月	⇩ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、昨秋からの足踏み状態を脱しつつあったが、足もとでは東日本大震災の影響が生産面などにみられはじめている。	⇩ 震災の影響に伴う生産活動の大幅な低下等から厳しい状況にある	⇩ わが国の経済をみると、震災の影響により、生産面を中心に下押し圧力の強い状態にある。	⇩ 景気は、持ち直していたが、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きとなっている。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2011年5月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、昨秋からの足踏み状態を脱しつつあったが、このところ東日本大震災の影響が生産面などにみられはじめている。		⇒ わが国の経済をみると、震災の影響により、生産面を中心に下押し圧力の強い状態にある。	⇒ 景気は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きとなっている。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2011年6月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、昨秋からの足踏み状態を脱しつつあったが、このところ東日本大震災の影響が生産面などにみられている。		⇩ わが国の経済をみると、震災の影響により、生産面を中心に下押し圧力が続いているが、持ち直しの動きもみられている。	⇩ 景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられる。
2011年7月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあるが、東日本大震災の影響が生産面などにみられている。	⇩ 厳しい状況が続いているが、供給面の制約が和らぎ、家計や企業のマインドも改善しつつあるもとの、地域間、業種間のばらつきを伴いつつも、持ち直しの動きがみられている	⇩ わが国の経済をみると、震災による供給面の制約が和らぐ中で、持ち直している。	⇒ 景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられる。
2011年8月	⇩ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、震災の影響も薄れてきている。		⇒ わが国の経済をみると、震災による供給面の制約が和らぐ中で、着実に持ち直してきている。	⇩ 景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、持ち直している。
2011年9月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、震災の影響も薄れてきている。		⇒ わが国の経済をみると、震災による供給面の制約がほぼ解消する中で、着実に持ち直してきている。	⇒ 景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、持ち直している
2011年10月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあるが、海外経済減速などの影響が一部にみられ始めている。	⇩ 地域間、業種間のばらつきを伴いつつも、着実に持ち直してきている。	⇒ わが国の経済をみると、持ち直しの動きが続いている。	⇩ 景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、引き続き持ち直しているものの、そのテンポは緩やかになっている。
2011年11月	⇩ 近畿地域の景気は、足踏み状態となっている。		⇩ わが国の経済をみると、持ち直しの動きが続いているものの、海外経済の減速の影響などから、そのペースは緩やかになっている。	⇒ 景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。

○日本銀行大阪支店 11月の景況判断（「近畿地域金融経済概況」）

「近畿地域の景気は、足踏み状態となっている。」とした。

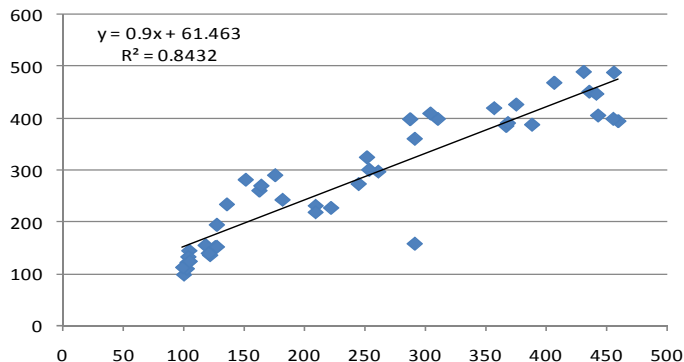
- ・ 輸出・生産・・・海外経済減速や円高から弱含み。
- ・ 設備投資・・・企業収益が頭打ちとなる中、やや弱めの動きがみられる。
- ・ 個人消費・・・全体として緩やかに持ち直している。

先行きは、海外経済減速の影響が強まることが懸念される。

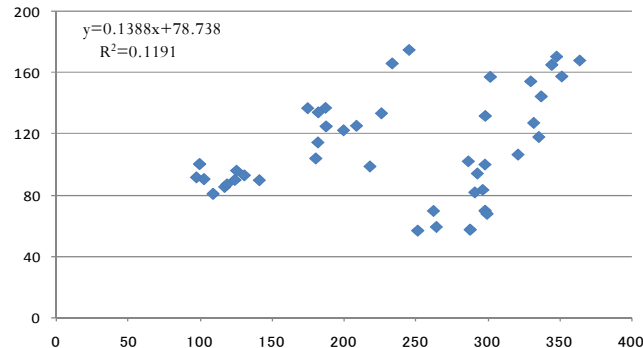
～タイの洪水による関西経済への影響～

1. タイでの生産と大阪府の対タイ輸出の関係(2000年～2010年)

タイでの生産と大阪府の対タイ輸出(電気機器)



タイでの生産と大阪府の対タイ輸出(輸送機械)



横軸はタイの業種別生産額を指数化したもの、縦軸は大阪税関の輸出額を指数化したものであり、それぞれ2000年第1四半期を100としている。

(出所)アジア太平洋研究所

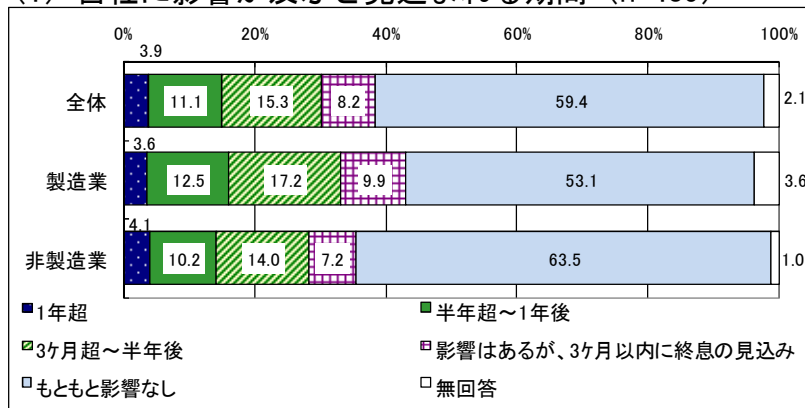
・輸送機械ではほとんど相関関係は認められない一方で、電気機器では相関関係が認められ、タイの工場で組み立てられる電気機器の部品が関西からかなり輸出されていると考えられる。

⇒**タイの生産が停滞すると、関西(大阪)の電気機器産業が大きな影響を受ける。**

* 関経連・大阪商工会議所の会員企業1,741社が対象。調査期間11/21～12/2

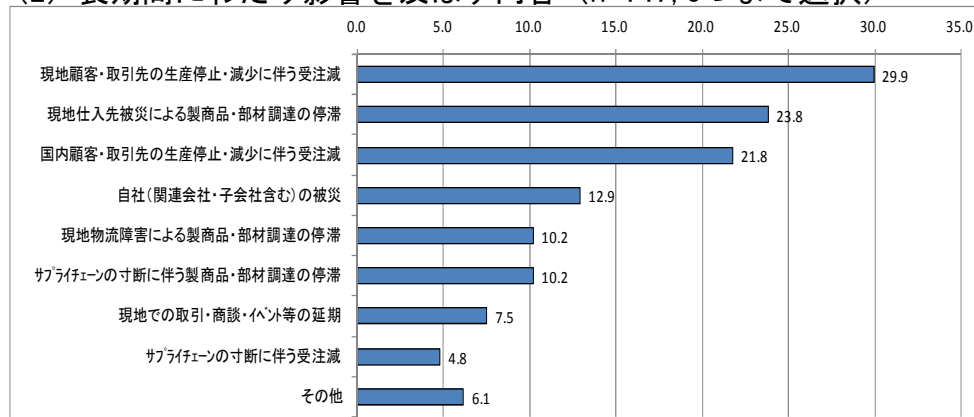
2. 企業への影響が見込まれる期間とその内容(「第44回経営・経済動向調査」*結果)

(1) 自社に影響が及ぶと見込まれる期間 (n=485)



・タイの洪水による自社への影響について、影響が見込まれる期間を聞いたところ、全体の59.4%がもともと影響はないとの回答であるが、調査時点から3カ月超影響が続くと見込む企業も全体の30.3%を占めた。

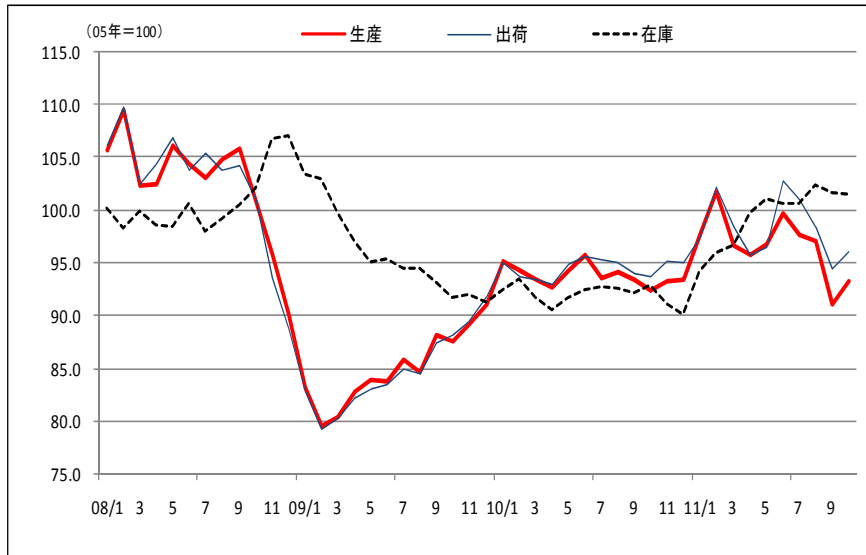
(2) 長期間にわたり影響を及ぼす内容 (n=147, 3つまで選択)



・(1)で「3カ月超影響が続く」と回答した企業にその内容を聞いたところ、「現地顧客・取引先の生産停止・減少に伴う受注減」などが多い。しかし「国内顧客・取引先の生産停止・減少に伴う受注減」も21.8%を占めるなど、現地企業との直接取引に限らず、影響が長期化している。

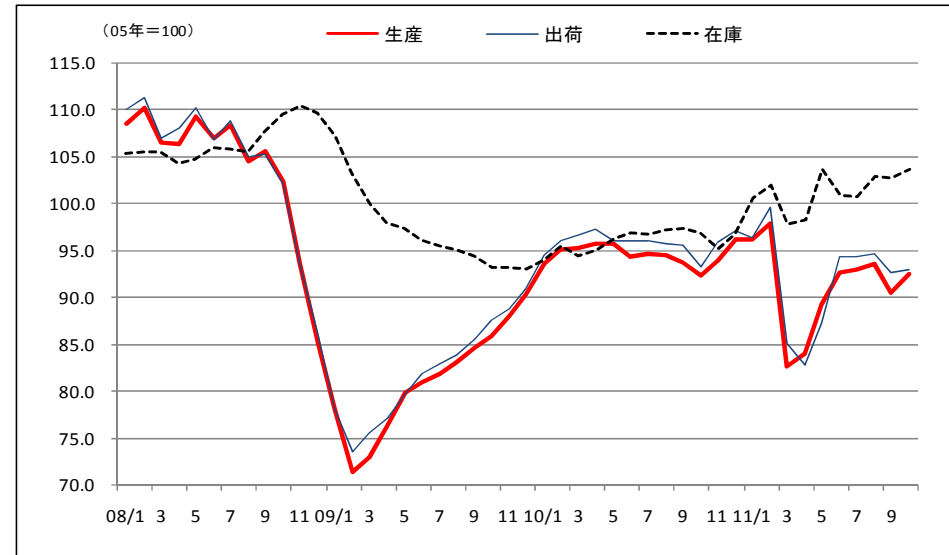
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2011年10月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2011年10月確報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業
生産指数
(前月比、%)

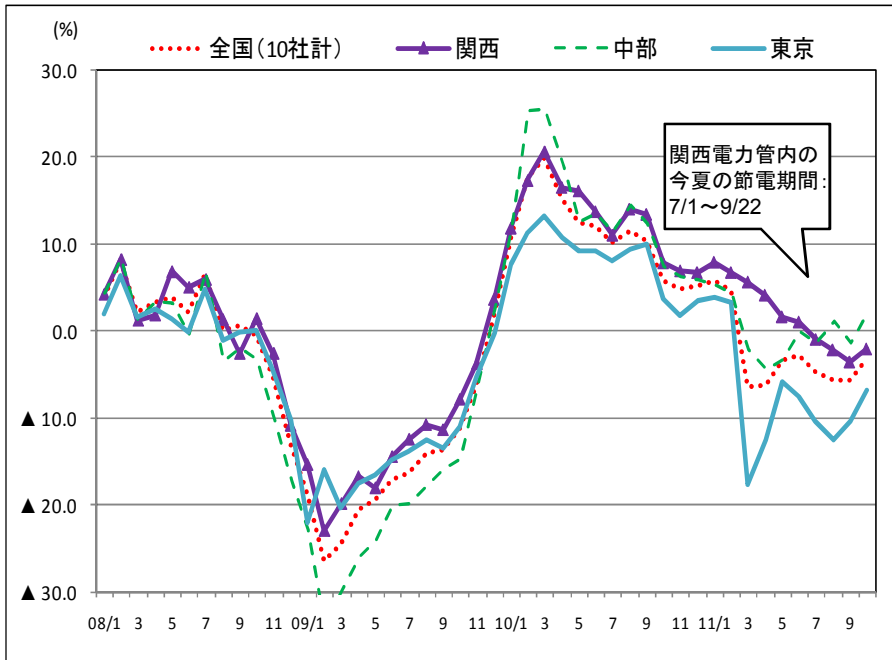
*網掛は、生産が
前月比プラスの業種

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿8月	▲ 0.6	3.9	2.7	▲ 7.5	2.2	▲ 5.3	1.0	2.1	▲ 2.9	3.8
近畿9月	▲ 6.2	▲ 4.9	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 9.5	11.0	▲ 2.4	▲ 5.6	▲ 3.5	▲ 4.0
近畿10月	2.4	▲ 1.9	5.1	9.5	▲ 1.7	▲ 12.7	▲ 10.0	6.7	3.1	1.1
全国10月	2.2	2.6	2.5	3.1	0.2	▲ 6.8	▲ 5.6	11.5	▲ 0.4	0.8

- ・ 近畿の10月（速報）の鉱工業生産指数は、93.3。前月比+2.4%と4カ月ぶりの上昇。総じて見れば、生産は横ばい。
出荷は前月比+1.7%の96.1と、4カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比▲0.2%の101.4と、2カ月連続の低下。
業種別にみると、一般機械工業、化学工業(除. 医薬品)、輸送機械工業などが上昇に寄与。
品目別にみると、鉄骨、フラットパネル・ディスプレイ製造装置等の生産が上昇。
- ・ 全国の10月（確報）の鉱工業生産指数は、92.5。前月比+2.2%と2カ月ぶりの上昇。生産は横ばい傾向。
出荷は、前月比+0.2%の92.9と2カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比+0.9%の103.6と2カ月ぶりの上昇。
業種別では、輸送機械工業、一般機械工業、鉄鋼業等が上昇した。
製造工業生産予測調査によると、11月低下の後、12月は上昇を予測している。

～生産～

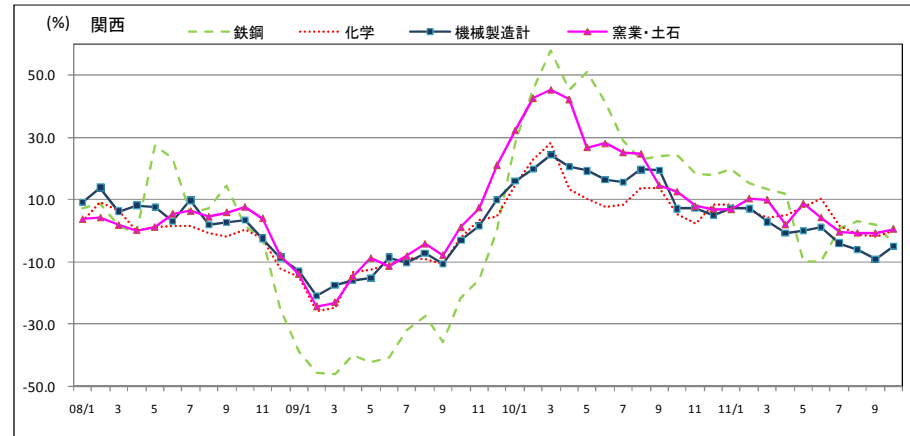
産業用大口電力実績（対前年伸び率・2011年10月まで）



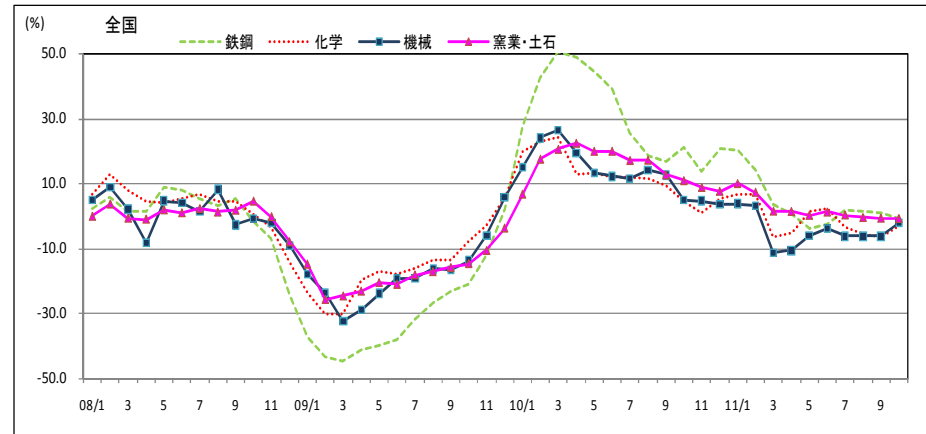
(出所) 電気事業連合会

- ・10月の関西の大口電力実績は、前年同月比▲2.0%と、4カ月連続で前年実績を下回った。全国は同▲3.2%と、8カ月連続のマイナスとなった。
- ・夏の節電期間が終了し、業種別(関西)では、食料品、ゴム製品、鉄鋼、機械製造計以外の6業種で前年比プラスとなった。機械製造は、昨年有家電エコポイントの駆け込み需要の反動減がある。

大口電力業種別実績（対前年伸び率 2011年10月まで）



(出所) 関西電力



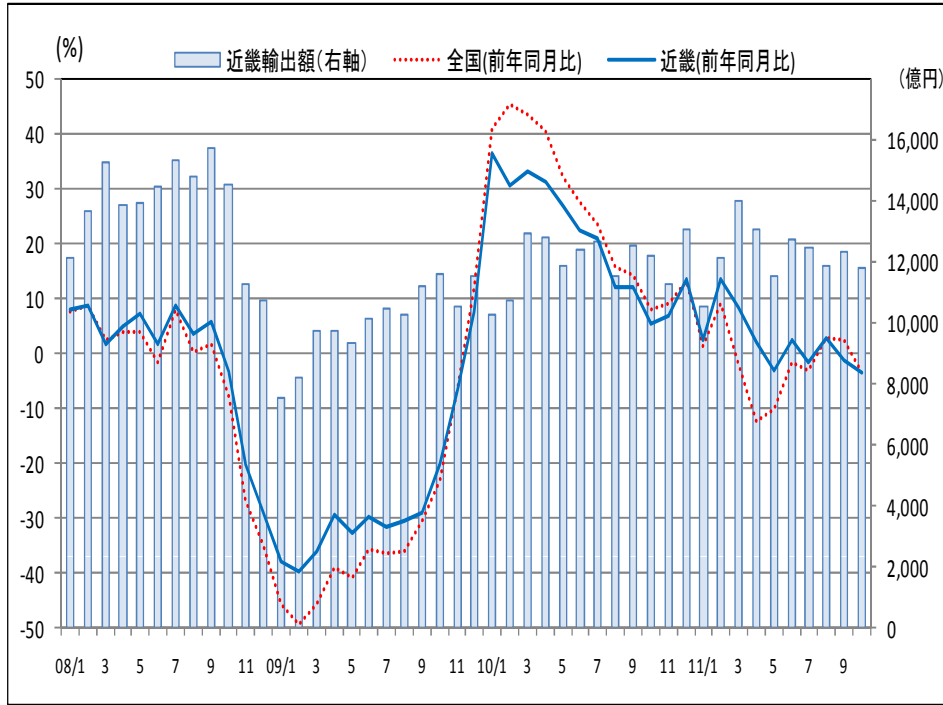
(出所) 電気事業連合会

大口電力 業種別実績（関西 前年同月比伸び率）

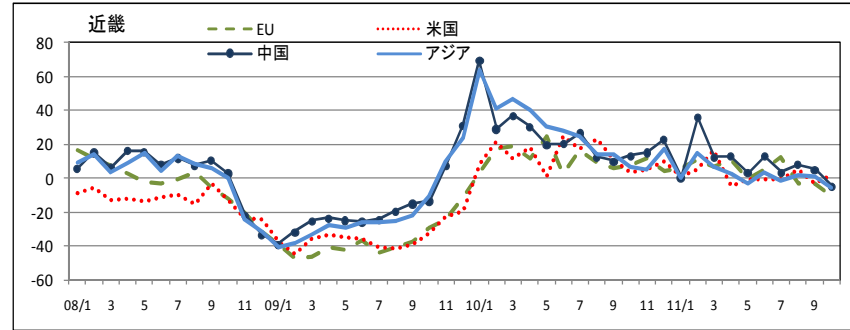
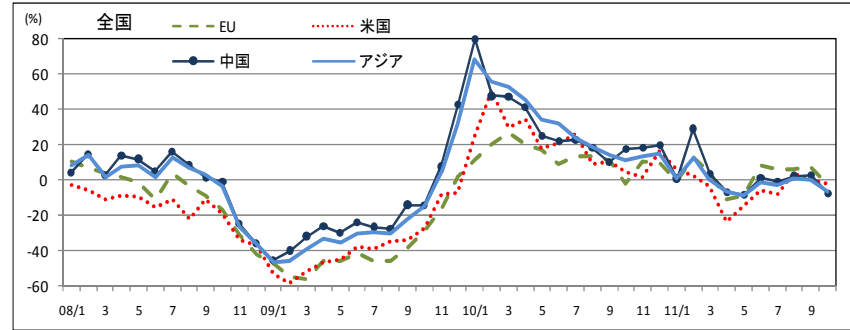
関西	食料品	繊維	パルプ・紙	化学	石油・石炭	ゴム製品	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	機械製造計
8月	▲ 2.9	▲ 6.8	▲ 22.8	▲ 1.2	▲ 5.4	▲ 4.0	▲ 0.7	3.1	29.8	▲ 6.0
9月	▲ 4.2	▲ 7.4	▲ 18.8	▲ 1.8	▲ 10.8	▲ 7.3	▲ 0.7	2.0	18.1	▲ 9.0
10月	▲ 0.8	0.9	0.4	0.1	2.4	▲ 1.7	0.6	▲ 4.0	12.6	▲ 4.9

～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移 (2011年10月まで)



地域別輸出金額・前年同月比推移

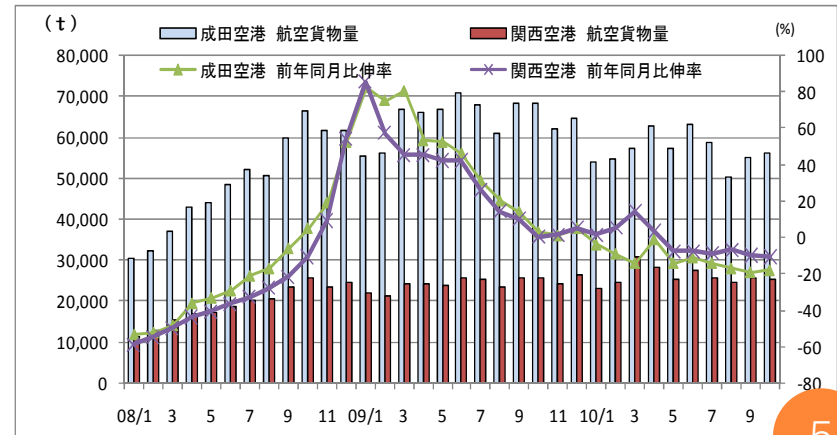


出所：大阪税関 資料

○近畿の月次の輸出動向 (2011年10月まで)

- ・ 10月の近畿の輸出額は1兆1,815億円、前年同月比▲3.4%。
2カ月連続の前年同月比マイナス。マイナス幅は前月からやや拡大。
- ・ 地域別では、アジア向けが前年同月比▲5.5%と3カ月ぶりのマイナス。
うち中国向けは同▲4.7%と24カ月ぶりのマイナス。
EU向けは同▲10.3%と3カ月連続のマイナス、米国向けは同+1.5%と2カ月ぶりのプラス。
- ・ 集積回路等、半導体等電子部品が減少。
- ・ 全国の10月の輸出額は5兆5,128億円、前年同月比▲3.7%と、
3カ月ぶりのマイナス。

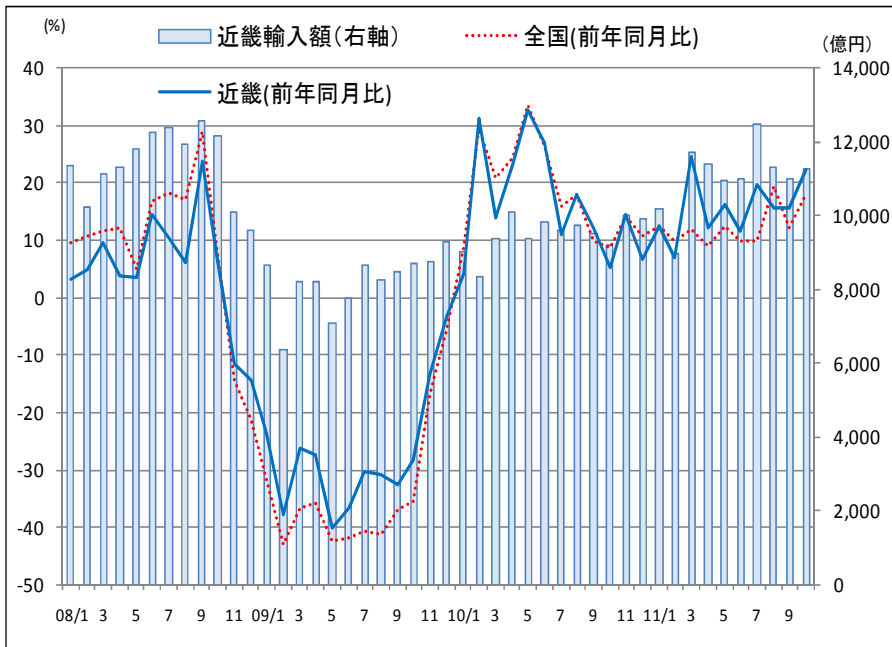
関西空港・成田空港貨物取扱量(輸出)



出所：関西国際空港(株)、成田国際空港(株)

～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移 (2011年10月まで)

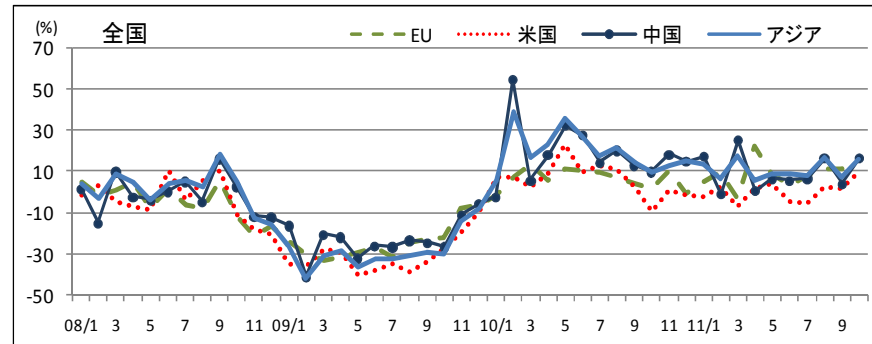
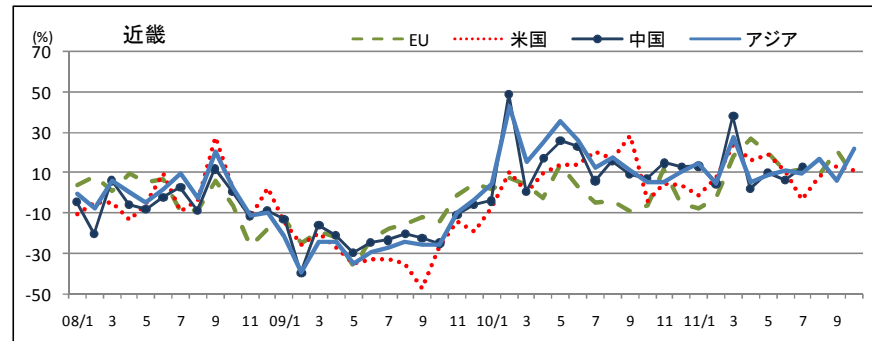


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

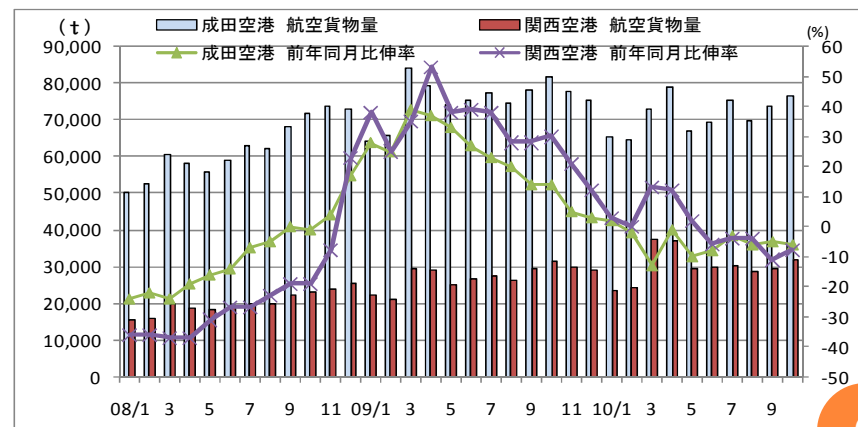
○近畿の月次の輸入動向 (2011年10月まで)

- ・ 10月の近畿の輸入額は1兆1,247億円、前年同月比+22.4%と22カ月連続のプラス。プラス幅は大幅に拡大。
- ・ 地域別では、対アジアが前年同月比+22.1%と22カ月連続のプラス。アジアのうち対中国が同+20.5%。対米国が同+10.9%と3カ月連続のプラス。対EUは同+8.3%と8カ月連続のプラス。
- ・ 引き続き原油や天然ガスが増加しているほか、中国産の携帯電話端末が増加。
- ・ 全国の輸入額は5兆7,866億円、前年同月比+17.9%と22カ月連続のプラス。

地域別輸入金額・増減前年同月比推移



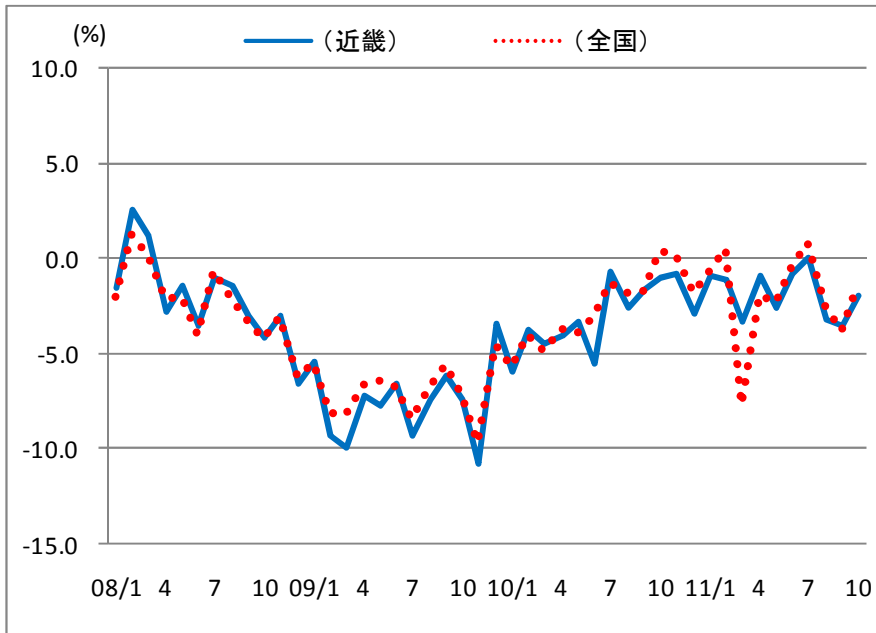
関西空港・成田空港貨物取扱量(輸入)



出所：関西国際空港株、成田国際空港株

～個人消費～

大型小売店販売額（前年同月比・2011年10月まで）



(出所) 近畿経済産業局

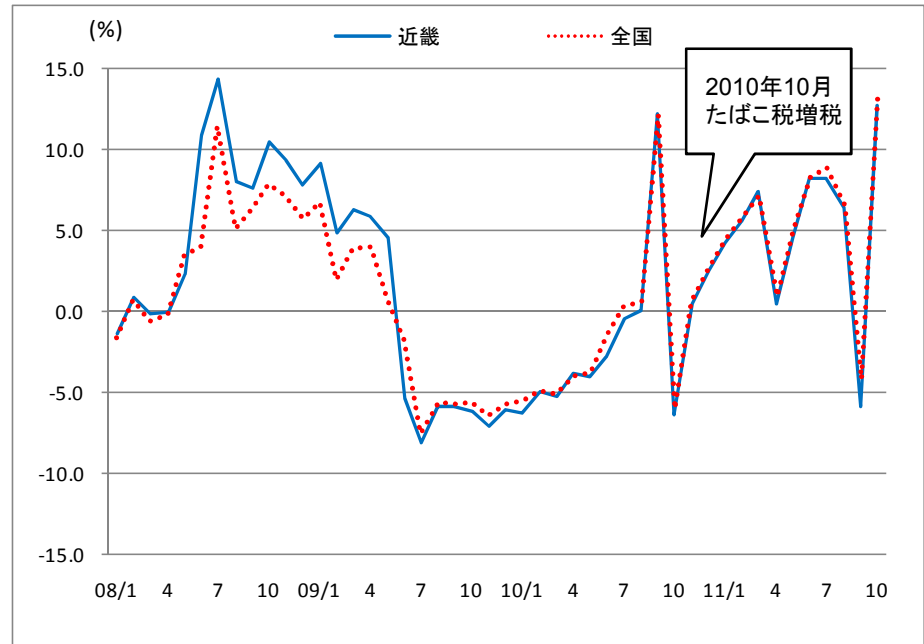
- ・ 近畿の10月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲2.0%と2カ月連続のマイナス。ただしマイナス幅は前月(▲3.8%)より縮小。先行き、株安や円高による消費マインドの冷え込みが懸念される。
- ・ スーパーは同▲3.3%と35カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同+0.1%と、3カ月ぶりのプラス。

主なコメント (近畿)

(出所) 近畿経済産業局

- ・ 月前半は気温の低下とともに、婦人のニット・コートや紳士のウォームビズ関連商品など、秋冬ファッションが好調に推移。(百貨店)
- ・ 節電対策で石油ストーブなどが大きく売上を伸ばしたが、去年のエコポイント特需の反動でテレビ等が大幅減となった。(スーパー)

コンビニエンスストア販売額（前年同月比・2011年10月まで）



(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の10月のコンビニエンスストア販売額(既存店ベース)は、前年同月比+12.8%と2カ月ぶりのプラス。前月(▲5.9%)は昨年10月のたばこ増税前の駆け込み需要の反動であり、引き続き堅調。

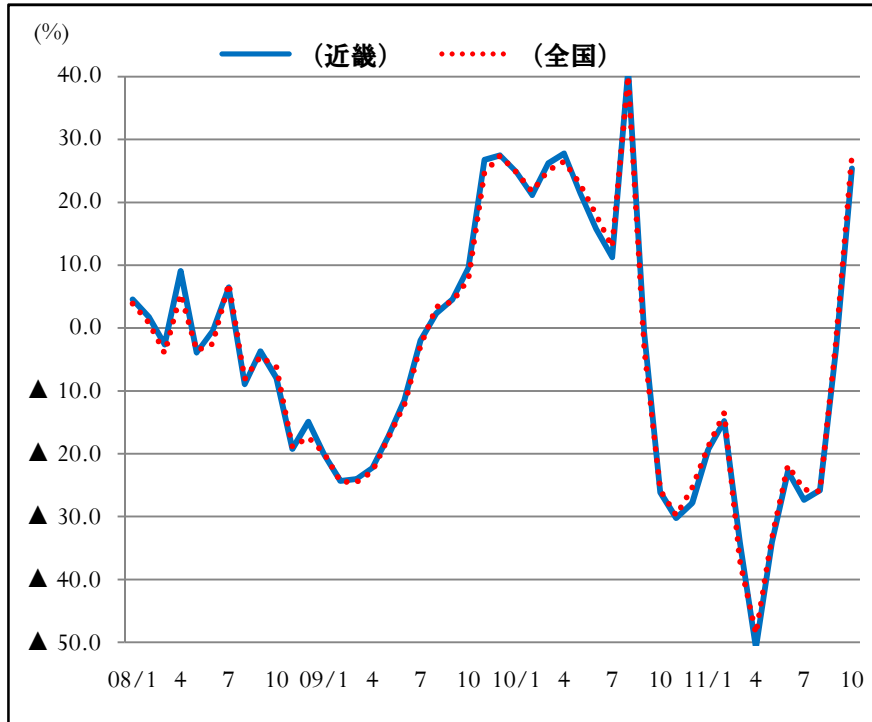
- ・ 全国も同+13.5%と、2カ月ぶりのプラス。

- ・ 販売額は前年同月比マイナスであったものの、来店客数は微増。総菜等が好調であった。(* 全国)

* (社) 日本フランチャイズチェーン協会調べ

～個人消費～

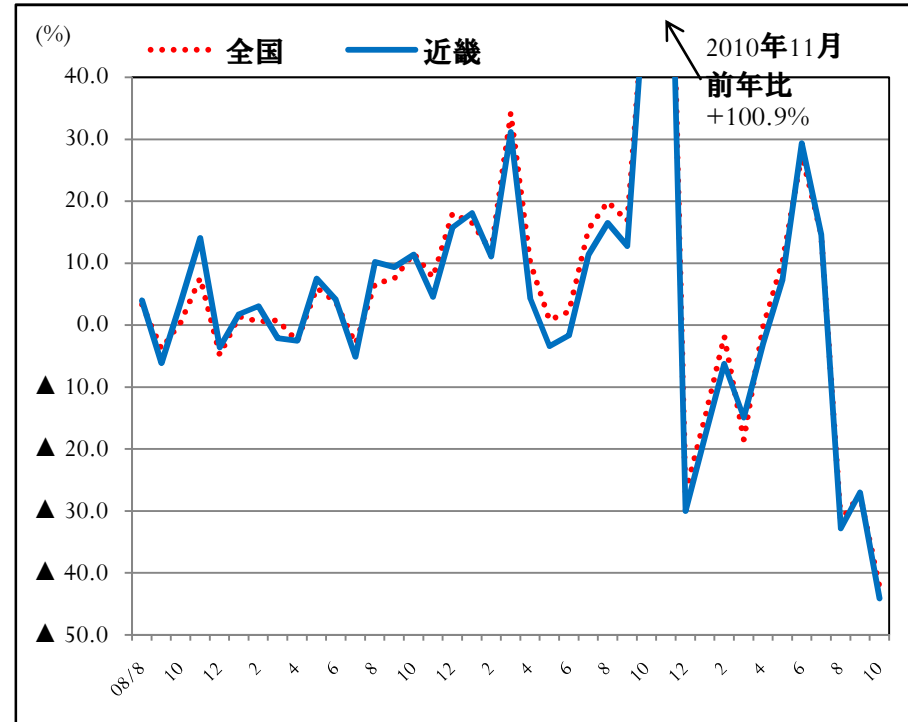
新車登録台数（前年同月比・2011年10月まで）



(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の10月の新車登録台数は、前年同月比+25.4%、14カ月ぶりのプラス。昨年のエコカー補助金終了後の大幅なマイナスに対する反動と、震災後の供給制約解消から、プラスとなった。
- ・ 車種別では、普通車+24.5%、小型車+25.7%、軽四車+26.1%。
- ・ 全国の10月の新車登録台数は、同+27.5%。

家電販売額（前年同月比・2011年10月まで）

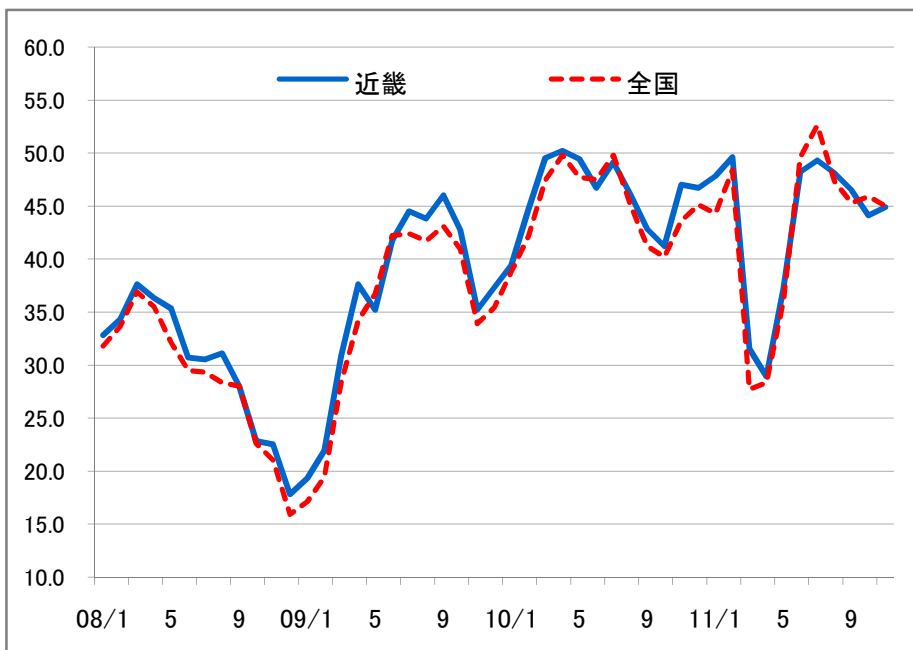


(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の10月の家電販売額は、前年同月比▲44.1%と、3カ月連続の前年同月比マイナス。昨年の家電エコポイント制度縮小前の駆け込み需要の反動と、今年7月の地上デジタル放送移行前の駆け込み需要の反動から、大幅なマイナス。
- ・ 全国は同▲42.3%。
- ・ 品目別では、カラーテレビが前年同月比▲83.1%、DVDが▲51.0%と大幅なマイナス。冬場の電力不足から、エアコンが同▲45.8%、石油暖房機が同+43.2%となっている。

～個人消費～

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2011年11月まで)

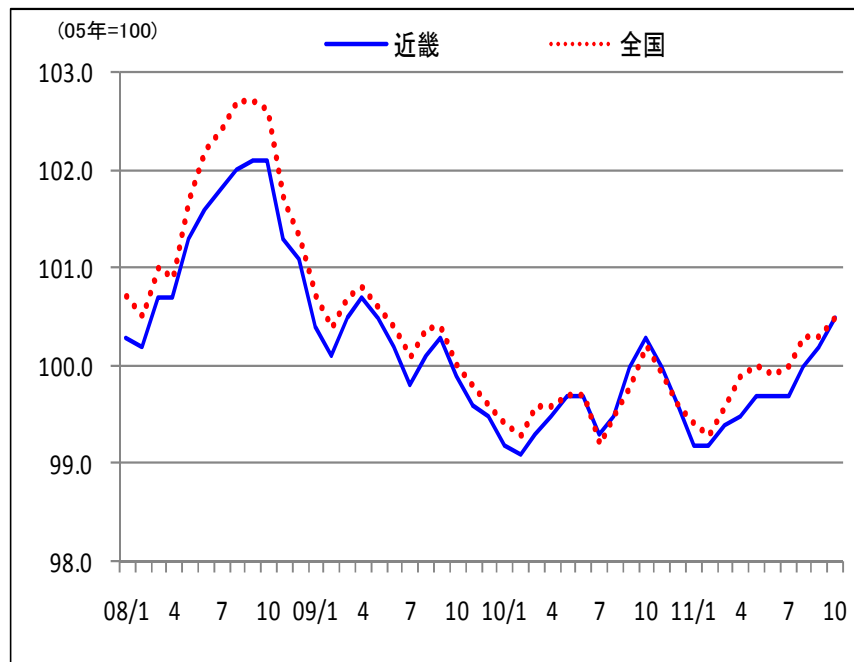


(出所) 内閣府

- ・ 11月の近畿の現状判断DIは前月比+0.8ポイントの44.9と、4カ月ぶりの上昇。ただし好材料はほとんどなく、引き続き円高やタイの洪水による影響を懸念する声が増加している。
- ・ 全国の現状判断DIは前月比▲0.9ポイントの45.0と、2カ月ぶりに低下した。
- ・ 近畿の11月の先行き判断DIは前月比▲0.3ポイントの46.3と、2カ月連続の低下。円高や引き続き、海外経済の先行き不透明感や円高、電力不足などによる懸念が強い。

全国の先行き判断DIは同▲1.2ポイントの44.7。

消費者物価指数(総合指数・2011年9月まで)

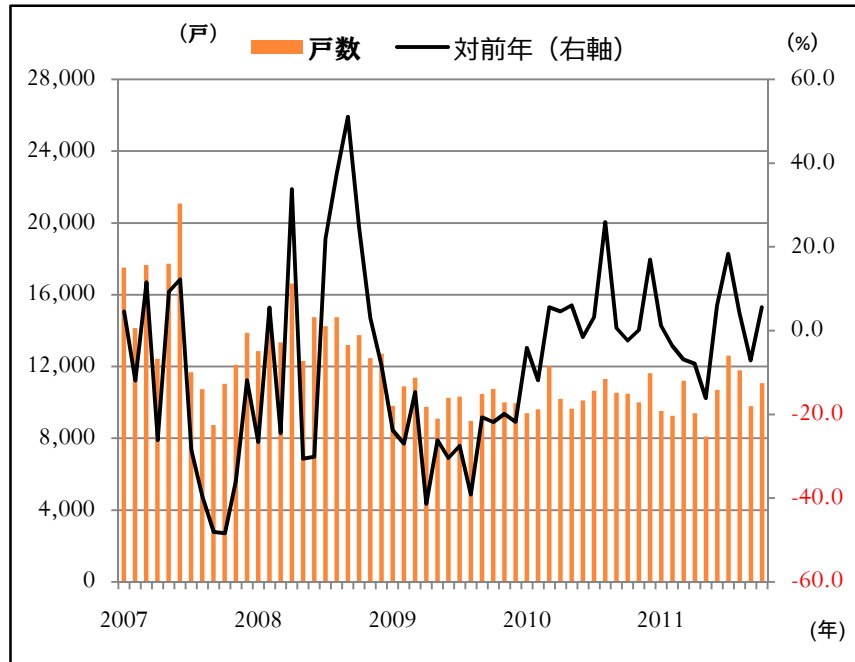


(出所) 総務省

- ・ 近畿の10月の消費者物価指数(総合指数、2005年基準)は100.5。前月比+0.3%、3カ月連続の上昇。
- ・ エネルギー(電気、都市ガス、ガソリン、灯油等)の指数が111.9、前月比▲0.2%と、2カ月連続の低下。前年同月比では+5.5%と引き続き上昇幅が高く、17カ月連続の上昇。
- ・ 近畿の食料(酒を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.8で、前月比+0.1%、前年同月比▲0.3%。前月比では4カ月連続の上昇。
- ・ 全国の9月の消費者物価指数(総合指数、2005年基準)は100.3。前月比横ばい、前年同月比+0.5%。

～住宅投資～

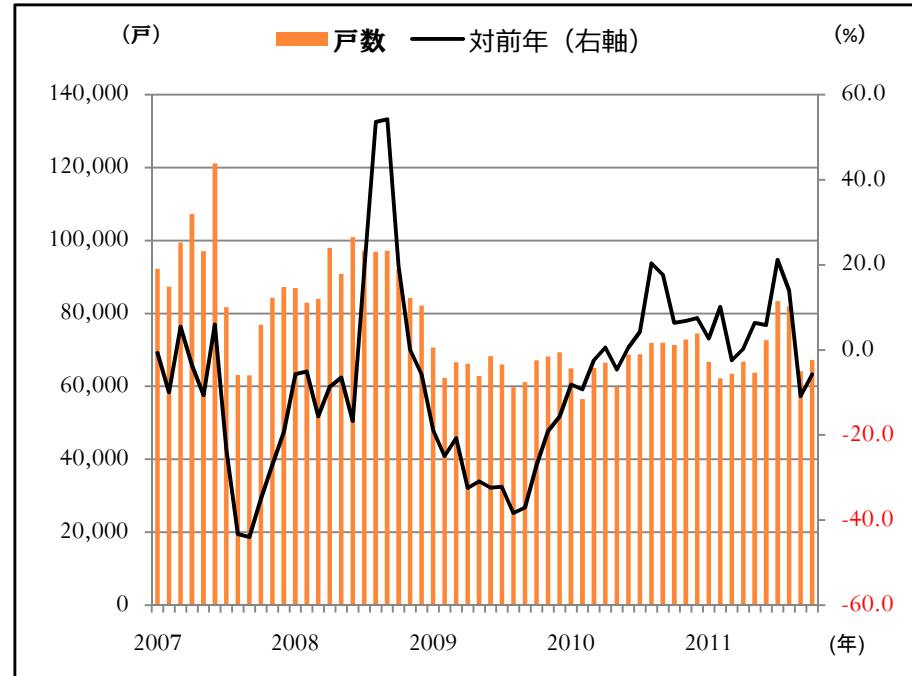
新規住宅着工戸数（近畿・2011年10月まで）



(出所) 国土交通省

- ・ 10月の近畿の新設住宅着工件数は11,078戸、前年同月比+5.6%。2カ月ぶりのプラス。
- ・ 利用関係別の対前年同月比を見ると、
持家が▲15.5%と2カ月連続のマイナス。
貸家が+5.3%と2カ月ぶりのプラス。
分譲は+27.7%と5カ月連続のプラス。
分譲のうち、マンションが+82.4%と2カ月連続のプラス。
一戸建て住宅は▲3.2%と2カ月連続のマイナス。

新規住宅着工戸数（全国・2011年10月まで）

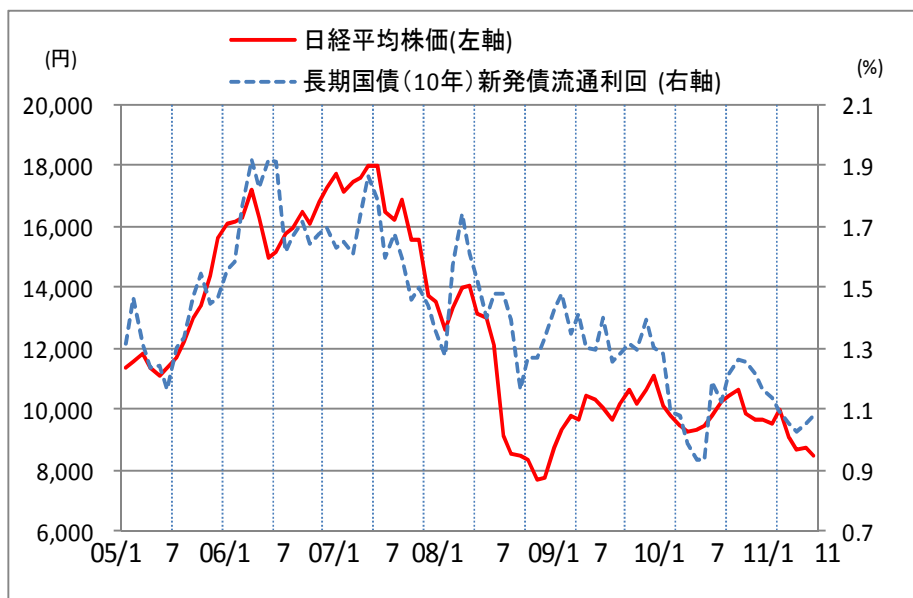


(出所) 国土交通省

- ・ 10月の全国の新設住宅着工件数は67,273戸、前年同月比▲5.8%と2カ月連続のマイナス。
- ・ 利用関係別に見ると
持家が▲8.1%と2カ月連続のマイナス。
貸家が▲8.9%と2カ月連続のマイナス。
分譲は+3.1%と2カ月ぶりのプラス。
分譲のうちマンションが+7.5%と2カ月ぶりのプラス。
一戸建て住宅が▲1.2%と2カ月連続のマイナス。

～株式・長期金利～

日経平均株価（期中平均）・長期国債新発債流通利回（月末）

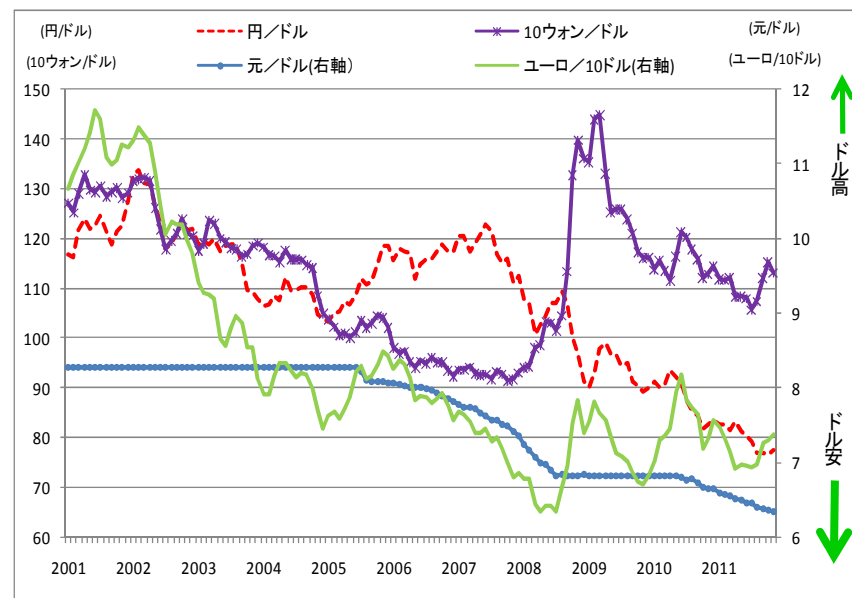


（出所）日本経済新聞社

- ・11月の日経平均株価(期中平均)は、前月比227円45銭安の8506.11円。11月18～25日にかけて5日間続落し、年初来最安値を連日更新するなど、欧州の財政危機の動向により、安値圏での推移となった。
12月16日現在、8,400円前後で推移している。
- ・先行きも、超円高の継続、電力不足、海外経済の減速懸念など、引き続き不安材料が多い。
- ・11月末の長期国債(10年)新発債流通利回りは、年率1.082%、10月末から0.026%上昇。
- ・ギリシャの財政危機以降、欧州では信用不安が続いており、格付会社による欧州の国債等の格下げ見通しが報じられている。日本の足下の利回りは低水準にあるが、復興財源捻出のための復興国債の募集が開始されるなど、今後も国債が増発されるため中長期的に長期金利上昇のリスクは高い。

～為替相場～

為替相場の動き（期中平均値・2011年11月まで）



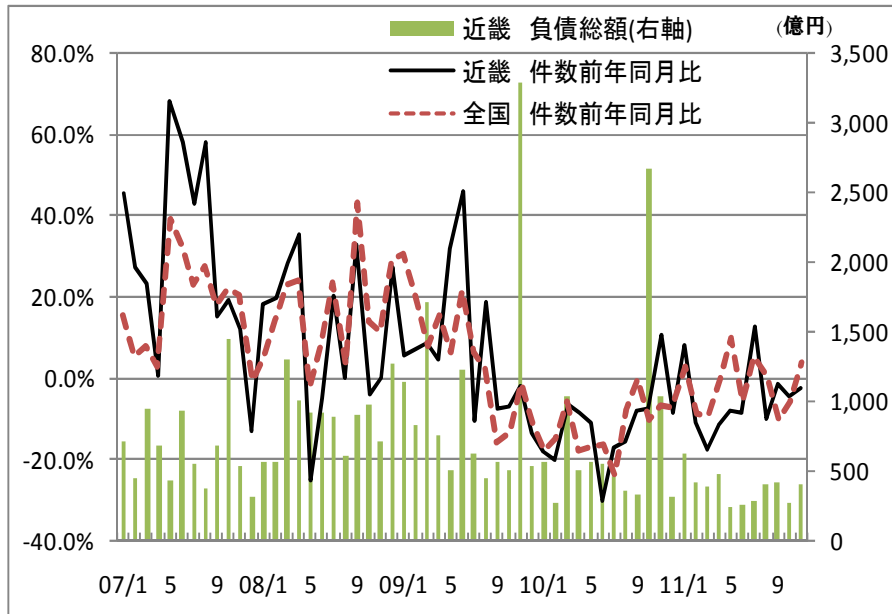
（出所）FRB

通貨	10月 (期中平均)	11月 (期中平均)	前月比
円/ドル	76.57	77.51	0.94 円の円安
ユーロ/ドル	0.73	0.74	0.01 ユーロのユーロ安
元/ドル	6.37	6.35	0.02 元の元高
ウォン/ドル	1152.72	1131.62	21.10 ウォンのウォン高

- ・10月末の為替介入以降、月初は78円台前半～77円台後半で推移したが、欧州の信用不安の高まりにより一時は76円70銭台まで円高に進んだ。ただし月の大半は77円～78円台前半で推移し、月中平均は1円近い円安となった。
- ・しかし依然として超円高水準にあり、今後も、欧州の信用不安の拡大、米国の低金利政策の継続など、引き続き円高懸念が強い。

～倒産～

倒産件数前年同月比・負債総額の推移（2011年11月まで）



(出所) 帝国データバンク

- ・2011年11月の近畿の倒産件数は261件。前年同月比▲2.6%と、4カ月連続で前年同月を下回った。
- ・近畿の負債総額は391億2,400万円。前年同月比▲62.0%と2カ月連続の前年同月比マイナスであるが、負債額100億円超の倒産が10カ月ぶりに発生。
- ・全国の倒産件数は971件、前年同月比+3.9%。全国の負債総額は1,905億3,800万円、前年同月比▲30.4%。

2011年11月の近畿の大型倒産

月	企業名	所在地	業種	負債総額(億円)
11月	(株)人間と産業開発研究所	大阪	投資業	100
	(株)日本インダストリー製作所	大阪	建設金物製造	21
	桐井鉄工(株)	大阪	土木建築工事	13
	(株)オーエム	大阪	染料・顔料卸	12

ホテル・旅館の倒産動向（全国、2011年11月まで）

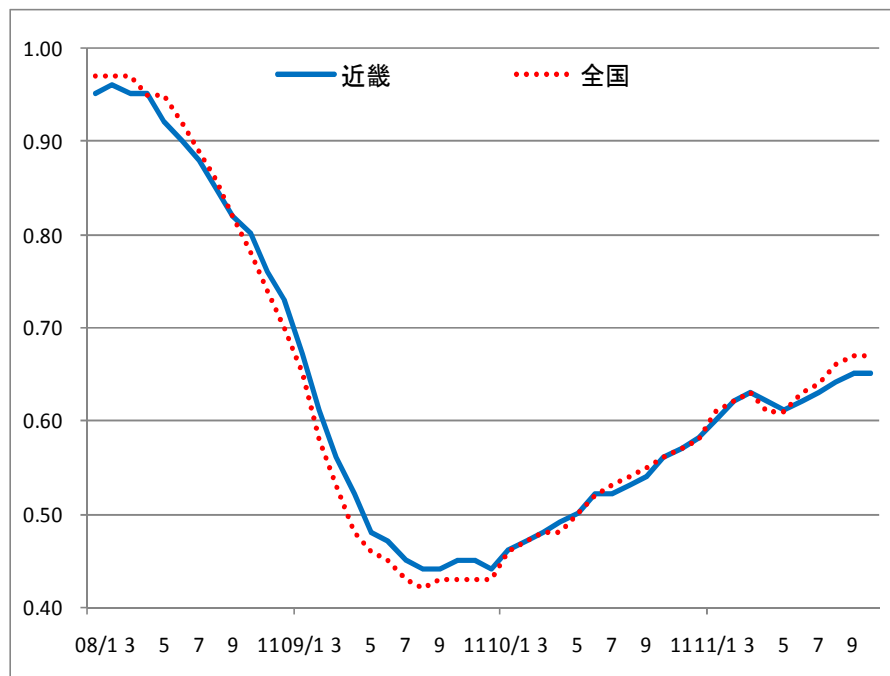
	2011年		うち震災関連		地域別倒産件数 (カッコ内はうち震災関連)
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	
1月	11	5,825	-	-	北海道 5件 (なし) 東北 16件 (7件) 関東 18件 (2件) 北陸 9件 (なし) 中部 31件 (7件) 近畿 10件 (1件) 中国 15件 (なし) 四国 2件 (1件) 九州 13件 (3件)
2月	11	3,810	-	-	
3月	10	22,030	0	0	
4月	16	15,604	3	3,162	
5月	20	12,943	4	4,100	
6月	12	9,899	5	7,591	
7月	9	10,158	3	9,690	
8月	5	1,320	2	430	
9月	11	5,047	1	90	
10月	5	2,815	2	601	
11月	9	6,474	1	35	
12月					
合計	119	95,925	21	25,699	

(出所) 帝国データバンク 「ホテル・旅館の倒産動向調査」

- ・2011年1月～11月のホテル・旅館の倒産（全国）は119件発生し、過去最悪となった2008年（123件）を上回るペースで推移している。
うち震災関連の倒産が21件（17.6%）を占めている。直接被害を受けた地域以外でも、中部や九州などで、震災関連の倒産が発生している
- ・近畿では11月までで10件発生しており、2008年の14件を下回っているが、震災後の観光客減少により、旅館の倒産が兵庫県で1件発生している。

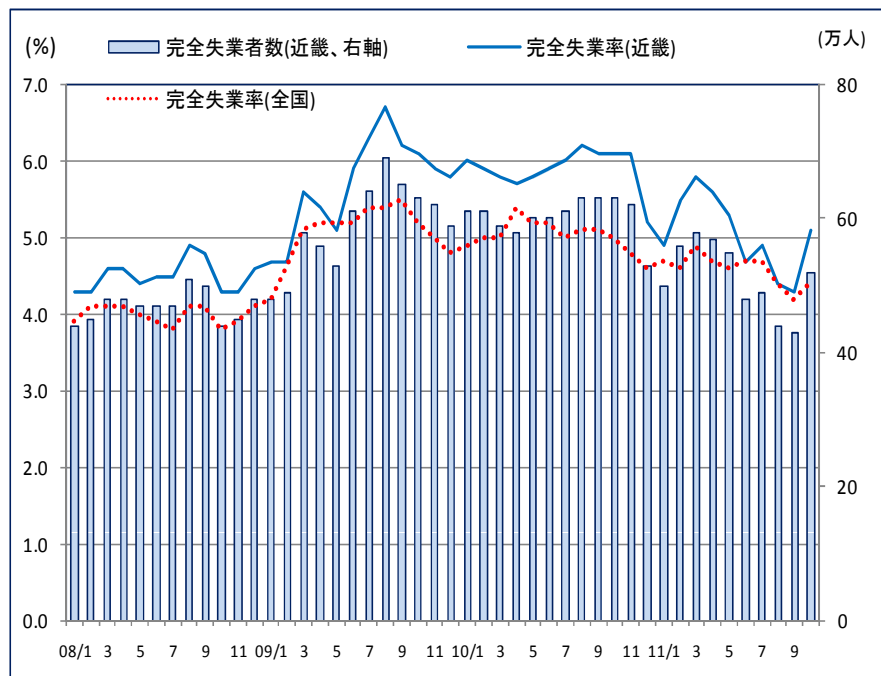
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2011年10月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2011年10月まで）



(出所) 総務省

地域別有効求人倍率（2011年10月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.67	0.49	0.64	0.67	0.71	0.81	0.82	0.65	0.83	0.83	0.57
0.00	0.00	0.01	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02

・2011年10月の近畿の有効求人倍率は0.65倍、前月からは横ばい。9月までは5カ月連続で改善していたが、一服した。円高やタイの洪水の影響で採用を手控える動きが出ている。

・全国は0.67倍で、近畿と同じく前月から横ばい。

- ・10月の近畿の完全失業率（原数値）は5.1%。前月の4.3%から+0.8ポイント悪化した。前年同月比では▲1.0ポイントの改善。
- ・9月には3年8カ月ぶりの低水準となったが、円高や海外経済減速の影響が現れ始めている。
- ・10月の全国の完全失業率（原数値）は4.4%、前月から+0.2ポイントの悪化。
- ・10月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.5%、前月から+0.4ポイントの悪化。

※東日本大震災の影響により、全国の2011年3～8月分結果には岩手県、宮城県、福島県の結果は含まれていない。9月分から当該3県を含む結果となっているが、沿岸部を中心に、調査が再開されていない調査区もある。